

## 第 23 回 X 線材料強度に関する討論会

1. 主催：日本材料学会
2. 協賛：日本鉄鋼協会，他
3. 日時：昭和 61 年 12 月 5 日（金）9:00～17:00
4. 会場：石川県工業試験場（地場産業振興センター）  
金沢市戸水町 Tel. (0762) 67-2161
5. 主題：「X線材料強度研究の最近の進歩」  
「事故破面解析の技術」
6. 参加料：会員（協賛学協会員を含む） 4,000 円  
学生 2,000 円  
前刷集（オフセット印刷約 100頁）を含む。  
前刷集のみ 会員 2,000 円

## 7. プログラム

セッション I 「X線材料強度研究における最近の進歩」  
9:10～12:00

1. X線応力測定の最近の進歩  
徳島大工 英 崇夫
2. X線応力測定の新しい装置と方法  
武工大 吉岡 靖夫
3. 高角度X線回折の現場への応用  
日発中研 小木曾克彦
4. 劣化損傷検出と余寿命評価の技術  
三菱重工高砂研 後藤 徹

## 5 総合討論

セッション II 「事故破面解析の技術」 12:50～17:00

6. 画像処理フラクトグラフィ  
京工大 駒井謙治郎
7. X線フラクトグラフィの手法  
京大工 田中 啓介
8. 疲労破面へのX線フラクトグラフィの  
適用と問題点 阪大工 小倉敬二，他
9. アルミナセラミックス破面のX線フラ  
クトグラフィ  
石川工試 三嶋 忠夫，他 3名
10. 機械部品破損事例のX線フラクトグラ  
フィの解析  
金沢大教育 広瀬 幸雄，他 4名
11. 軸受関連部品の破面解析  
東洋ベア 対馬 全之
12. 重電機器材料の破面解析  
日立機械研 林 真琴
13. 総合討論

8. 申込締切：11月28日（金）

9. 問合先：〒606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101  
日本材料学会X線討論会係

## 原稿募集

## 「鉄と鋼」特集号

## テーマ “製鉄技術の拡大と高度化”

原稿締切日 昭和 62 年 3 月 10 日（火）

昭和 62 年 11 月号（第 73 年第 15 号）に製鉄特集号を企画しております。鉄鋼業の低成長時代といわれるようになってから、かなりの期間が経過し、この間、製鉄分野においては、省エネルギー化ならびに多様化するエネルギー事情に対応するため幅広い操業法を経験し、技術の拡大と高度化が達成されております。特に、原料分野においては、ミニベレット技術、高被還元性焼結鉱の製造、非焼成原料の開発、新塊成化法、コークスの分野では、コークスの反応性や強度、CDQ 技術、微粉炭や水スラリーの利用、高炉においては、超低シリコン操業、装入物分布制御あるいはトータルシステムとしての管理技術、数学的モデルの活用等に進歩がみられます。一方、高炉法に対抗する直接製鉄法や熔融還元法、さらには、フェロアロイやチタン等鉄以外の金属製錬の研究への広がりもみられます。また、観察、測定技術の面からは、X線断層撮影法、画像処理技術、その他新しいセンサーを活用した炉内計測の研究報告が出されるようになってきております。

そこで、今回は、製鉄全般にわたる技術の高度化および広範囲化という観点から、原料、製鉄のプロセスシステム、新製錬法、測定技術などを中心とした基礎科学的ならびに应用技術的研究の特集号にしたいと考えております。論文、技術報告の両分野に多数御投稿下さいますことを期待しております。

(1) 原稿締切日 昭和 61 年 3 月 10 日（火）

(2) 発行 鉄と鋼 第 73 年第 15 号（昭和 62 年 11 月号）

(3) 原稿枚数 論文および技術報告とも刷り上り 8 ページ以内（表，図，写真を含めて本会所定の原稿用紙 40 枚以内）

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。

・投稿された原稿は編集委員会において審査されます。

(4) 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3F

(社)日本鉄鋼協会編集課「製鉄特集号」係

電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時、原稿用紙に「製鉄特集号」と朱書して下さい。